



会報

第 39 号

2021年(令和3年)3月1日

桑高同窓会



令和3年3月卒業生

内 容

同窓会会長・校長先生ご挨拶	P 2
「青春応援 On Web」プロジェクト	P 3
コロナ禍の同窓会運営・期日前投票	P 4
たより「麒麟がくる」・定時制部会70周年	P 5
百十周年記念講演・書道部応援メッセージ	P 6
関西支部の活動	P 7
東京支部の活動	P 8
同窓会活動写真	P 9
桑高生行事写真	P 10
大学合格状況・卒業生数	P 11
卒業生代表幹事一覧・母校の活躍	P 12
同窓会事業及び会計報告・役員一覧	P 13
桑高のシンボル・公式ホームページ	P 14



令和3年卒クラス幹事

ご挨拶

桑名同窓会会長

伊藤 隆彦

（11 回生）



昨年はコロナで始まりコロナで終わりました。しかし、まだ終わっておりま

せん。
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、WHO のレポートに依りますと、これまでに、世界中で 1 億人近い人の感染が確認され、200 万人以上が命を落としていたとのことです。

日本の感染者は、これまでに約 37 万人とのことで、約 2530 万人と言われていると、米国に比べると、まだ少ないですが、大変な事態と考えるべきではないでしょうか。この 1 月始めにも緊急事態宣言が発令されましたが、未だその効果が見えてきません。

現在も世界各国で感染拡大が、続いており、先行きが読めない状況にあるのではないのでしょうか。

コロナの影響による、外出制限や、多数での飲食制限等が、経済にも大きな影響を与え、職を失い、店を閉めなければならぬなどの、大きな生活影響を与えているのも見逃せません。

このことは、実際に家計を担っている親だけではなく、子供達の生活にも大きな影響を与えているのではないのでしょうか。

このコロナ禍で、職を失った為、家計が困窮し、就学が困難になった学生も多数存在するのではないのでしょうか。

コロナの影響で、生活が困窮したり、学校での授業の様子が変わったことにより、不安の要因が増えたことによる、若者の自殺者が増加したとの報告もあります。

家計が苦しくなったため、就学が困難となった生徒を救う為の、修学支援制度なども、文部科学省や、都道府県などの教育支援部署で考えられております。

この危機は、日本だけではなく、紛争や自然災害、気候変動によって以前から人道危機に直面していた国や、医療体制が整っていない途上国などの、難民キャンプなどの密集した場所において、急速な感染拡大の懸念が高まっています。

この危機下でユニセフは、急速に拡大するパンデミックから子供達を守りながら、保健サービスや栄養治療など従来の支援活動を継続しています。ユニセフの歴史のなかでも最も大規模な支援活動が、日々世界各地で続けられています。

一人でも多くの幼い命をこの危機から守り抜くために、私達も何をすべきか、考えねばならないのではないのでしょうか。

私達、桑名高等学校の同窓会の会員も、コロナ禍で、もし在校生が、家計が苦しくなり、就学困難となり、場合によっては退学せねばならない生徒が一人でもいるなら、助けることを考えるのが、かつて同じ学び舎で学んで、今がある同窓生の務めではないのでしょうか。

ご挨拶

桑名高等学校校長

伊藤 隆之



同窓会の皆様には、平素より、本校教育活動に多大なるご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

未曾有の事態である新型コロナウイルス感染症の拡大は、1 月現在、未だに終息せず、経済や社会に甚大な影響を与えています。第 3 波の深刻さが増すなかで、収束に向けた必死の努力が続いています。医療をはじめ各現場で過酷な業務に就いておられる方々に、心からの敬意と感謝の意をお伝えしたいと思います。同窓会の皆様におかれましても、それぞれのお立場で新型コロナウイルスに係る影響と闘ってみえることに、心より敬意を表します。

さて、年度当初の全国一斉臨時休校に伴う学習の遅れに対しまして、本校では、素早く取り組みました「オンライン授業」等により、例年並みに追いつかせることができました。また体育祭や桑名祭につきましても、非公開としながらも生徒を主役に工夫を重ねながら実施いたしました。学校に潤いと活気を取り戻すことができたものと考えております。特に、同窓会の皆様は例年お世話になっております桑名祭の「うどん部屋」につきましては、生徒の飲食模擬店と同様、残念ながらご出店いただくことができませんでしたこと

とに、ご理解賜り、感謝の念に堪えません。

ご心配をおかけいたしました修学旅行につきましても、安全のみならず安心感を重視し日程と行先を変更して実施し、写真撮影の時だけ静かにマスクを外すなど生徒たちは協力して取り組み、自ら学び楽しむという姿勢で成功させてくれました。加えて、創立 110 周年記念講演会も、同窓生である京都大学大学院医学研究科教授 萩原正敏様をお迎えし、対面とオンラインを組み合わせ実施いたしました。いずれの行事に関しましても、同窓会の皆様に惜しみないご理解とご協力をいただき、桑名高校の底力を内外にアピールすることができたものと確信いたしております。

普通科・理数科にあつては大学入学共通テストの初実施、英語民間試験活用と大学入学共通テストの記述式出題の導入延期を経て、衛生看護科・衛生看護専攻科にあつては病院等での臨地実習の代替実習を乗り越えながら、定時制にあつては悪化する就労・就職状況のなか、コロナ禍のもとでの大学入試・看護師国家試験・就職試験と常に冷静かつ瞬時の対応力を求められる渦中にあります。生徒は、将来きつと今年の我慢・辛抱・忍耐を役立ててくれるに違いないと信じています。

今後も生徒一人ひとりの自己実現に向けて、教職員一同全力で取り組んで参ります。これからも引き続き桑名同窓会会員の皆様からのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



2020年 高校の部活動は、夏の高校野球を始めとして、全国大会など多くの大会が中止を余儀なくされました。文科系部活動においても同様で、大会やイベントはもとより、教室などを利用する練習すら行えない状態になったと聞き及んでおります。発表する場も無い、練習する場も無い。現在の高校生は、せつかくの青春時代が我慢の時代になってしまっています。高校生の部活動においても、新しい活動形態を生み出すことが必要とされています。

代々受け継がれてきたノウハウの伝承も困難になっています。このような時節だからこそ、先輩から後輩への情報発信の場が

桑高「青春応援On Web」プロジェクト 始動

伊藤剛康(41年生)

桑高 青春応援 on web! 部活発表



必要になると思います。部活動に限らず、勉強や進路選択においても同じことが言えるでしょう。そこで、同窓会では現役生に寄り添う活動として、桑高「青春応援On Web」プロジェクトを立ち上げました。プロジェクトでは、同窓会ホームページに、現役生徒と同窓会を結ぶ

同窓会ホームページ上に、部活動の発表の場を開設

文化部を主体として想定しているが、運動部も参加可能

桑高 青春応援 on web! OB/OGメッセージ



社会人OBや現役大学生OBによる、桑名高校へのメッセージを収録SSH(スーパーサイエンスハイスクール)に取り組む現役生へのメッセージ発信も企画

2つのコーナーを開設し、相互の交流を図りたいと思います。

①部活発表のコーナー

ホームページ上に部活動の発表機会を創ります。部活動や現役生の情報発信の場になればと思います。遠方在住で桑名に帰省することが出来

ないOB、OGがweb空間を通じて、現役生の活動を見ることも可能になります。

②OB/OGメッセージのコーナー

OB、OGから現役生へのメッセージ発信を行います。部活だけでなく現役生の進路選択に役立つコーナーにしたいと思

います。各界で活躍するOG、OBからのメッセージや大学情報を掲載したいと思っています。本年、東京・関西両支部と同窓会が連携してチームを立ち上げ代表に加藤武夫同窓会副会長が就任。各地から15名の有志に参加いただいております。チームでは現在同窓生のメッセージを募集しています。社会全般でニューノーマルの時代を模索する中、時代の変化にいち早く対応できるように、同窓会を挙げて応援していきたいと思っています。同窓生の方でプロジェクトの趣旨にご賛同いただける方は、是非ご協力をお願いいたします。

百十周年の中止を乗り越えて 「コロナ禍での同窓会運営」

2020 年は、東京オリンピックの開催と、桑名高校創立百十周年を迎える記念する年となるはずでしたが、世界規模の「新型コロナウイルス」の感染拡大防止のためオリピックを始め、すべての社会活動が中止・延期を余儀なくされました。同窓会においても、令和 2 年 3 月 22 日の「臨時企画委員会」に於いて「桑高創立百十周年」に関するすべての同窓会記念事業の中止を決断するに至りました。

しかしコロナ禍に於いても次年度への準備は怠りませんでした。

「10 月企画委員会」の報告

10 月 17 日に開催された令和 2 年度第 1 回企画委員会では主に

- 令和 2 年度幹事総会の開催方法
- 新規事業「青春応援 On Web」
- 同窓会への寄付金の説明と、その資金を基にした奨学金制度の検討などについて議論されました。

◆ 奨学金制度に関する内容は、正副会長を中心とする検討委員会が、各分野の専門家の意見を聴くなど、財団設立を目指し調査することとなった。

「令和 2 年度幹事総会」の報告

日時：令和 2 年 12 月 6 日
会場：桑名 NTN シティホール
出席者：31 名 委任状 308 通
令和 2 年度の幹事総会は、新型コ

ロナウイルス感染拡大防止及び、出席者全員の安全確保の観点から、規模を縮小して開催する苦渋の決断をいたしました。

委任状による議決権をお願いすると共に、参加出来ない会員のため、今回初の試みとして、11 月 20 日桑高同窓会のホームページに総会資料を事前に掲載して同窓会の活動状況を公開しました。当日受付では体温測定・手指のアルコール消毒を実施し、百名収容の会議室では換気と間隔を十分取りました。

県内公立高校初の「一般財団法人 県立桑名高校同窓会奨学財団の設立」が決議されました。財団の代表理事は桑名高校同窓会伊藤隆彦会長とする。資金は同窓生の篤志家からの寄付金 3 千万円を原資とする。篤志家の意向である、コロナ禍で経済的理由により就学が困難な桑高生に、返済のいらない給付型奨学金を支給する。令和 3 年 4 月の設立を目指し、将来は公益財団法人を目指す。

以上の承認に基づき令和 3 年 2 月 6 日開催の第 3 回役員会にて、（一財）県立桑名高校同窓会奨学財団設立時評議員 9 名が選出されました。

○ 高橋省吾（参与）・加藤正一（参与）・市川景範（参与）・岡田順二（参与）・岡野良子（副会長）・鶴飼史郎（元東京支部長）・杉本芳昭（関西支部長）・加藤寛（理事）・後藤隆彦（理事）

* 評議委員長○は評議員会の互選

「コロナ禍の中 校庭で期日前投票」

令和 2 年 11 月 27 日（金）12：30
桑名高校 A 館前の駐車場で、11 月 29 日（日）執行予定の桑名市長選挙の期日前投票所が開設されました。

昨今の選挙において若年層の投票率の低下が際立ち、早い段階から若者の選挙に対する関心を高める目的から、桑名市内 5 校の高等学校と桑名市選管が 10 月 1 日桑名市役所にて「選挙啓発に関する連携協定」の締結を交わしました。三重県でも初めての試みでした。

その一環として、バスを使った移動式期日前投票所が市内の各高等学校に設置されました。

桑名高校では大型バスが校内に入れないので、当日にワゴン車に機材を積み市職員が校庭駐車場に投票所を設営しました。

桑名高校ではコロナ禍に加え、期末試験中のため投票時間は 40 分ほどしかありませんでしたが、生徒・教員そして近隣住民合わせて 67 名の投票者がありました。桑名市内 5 校での期日前投票者の合計は 193 名になり、他校では生徒たちが選挙事務をボランティアで手伝うなど、18 歳で初めて投票する高校生の選挙に対する意識が高まったのではと好評でした。



期日前投票 受付に並ぶ生徒 2020.11.27



A 館前での投票者受付場所の設営

読者からのたより 「麒麟がくる」

同窓会報の新規購読者となられた
浜島典彦(22回生)さんにお話しを
聞くことができました。勤務する身
延山大学(山梨県)学長に在職時、
今年2月まで放送されたNHK大河
ドラマ「麒麟がくる」の制作スタッ
フと呼ばれ「仏事指導」をされ
たことです。

(質問・出演俳優との関りは)

「麒麟がくる」には、リハーサル
を含めて十回以上立ち会わせて頂き
ました。殊に、齊藤道三(俳優・本
木雅弘)の出家シーン(身延山大学
学生2名がエキストラ出演)、その
息子二人(次男と三男、長男は俳優・
伊藤英明)の遺体が運ばれてくる場
面等々で指導。袈裟の掛け方・種類
(色合い等)、数珠の持ち方、所作(歩
き方・座り方)、お経の読み方、写経、
お寺の名称の間違いの指摘(例えば、
本國寺→本國寺)等を担当しました。

一番言葉之交わしたのは、座長で
ある主役明智光秀役の長谷川博己さ
んです。品格があり気配りの役者さ
んで私の顔を覚えて頂いたと思いま
す。NHKのスタジオではない所で
座っていたら『先生ご苦労さまで
す』と声を掛けて頂き、茶菓子を一
緒に食べ幾度も雑談をさせて頂きま
した。本木雅弘さんとはにかく演技
力抜群の役者さんでした。義母・樹
木希林さんと義父・内田裕也さんの
夫婦が身延山へよく来られた時のお

話しをすると、丁寧な受け応えて頂
きました。伊藤英明さんとはとても気
さくな方でした。丁度、他のテレビ
局で『病室で念仏を称えないでくだ
さい』を放送していたので、お経の
読み方等を尋ねられました。因みに
その番組を私の友人が指導していた
ので話が盛り上がりしました。
堺正章さんはそのままの方で、腰
の低いとても良い方です。お陰さま
で川口春奈さん等とも言葉を交わす
ことができました。

(質問・読者へメッセージを)

一昨年5月28日からお手伝いさせ
て頂き、本録・リハーサルばかりで
なく、メールで様々な疑問にお応え
してきました。

私たちが見るNHK大河ドラマの
映像は「ピラミッドの頂上部」であ
ることを実感しました。原作の池端
俊作先生は勿論の事、監督・助監督
撮影、音声、音楽、大道具、小道具、
美術、衣裳、広報等総勢三百人を超
える方々の大きな支えとチームワー
ク力によって番組ができていくこと
を肌で感じました。

準主役交代による混乱、「コロナ
禍」の中断と再開、初の越年放送、
東京五輪期間中の休止を予定して放
送回数が例年より少ないなど「麒麟
がくる」はNHKの歴史に残る番組
になったのではと思っております。
帰宅が深夜2時になる時もありまし
たが、本当に善き体験をさせて頂い
たことに、感謝、感謝であります。

(注・ドラマの背景は、戦国最大の
クーデター「本能寺の変」に至るま
での戦乱激変の不安定な時代です。
私達も令和へと元号が変わった転換
期に、「コロナ禍」に見舞われ先の
見えない不安な今を生きています。
「麒麟」は中国の史記に登場する伝
説の聖獣で、平和で穏やかな世に
なった時やってくるという。早くコ
ロナが収束して安心で平和な世の中
がやってくるよう願うばかりです)



定時制部会 創立70周年を迎えて

昭和27年3月定時制は普通科第1
回卒業生60名を送り出し、平成13年
6月10日「同窓会定時制部会創立50
周年記念総会」を桑名シティホテル
で開催した。以後同会場で55周年平
成18年6月25日、60周年平成23年7
月3日、65周年平成28年6月19日と
開催を続け今年70周年を迎える。

この間にA館1階の職員室とB館
1階の教室(全日制と共用)は、平
成14年E館3階へ移動後、平成23年
1月A館3階へ再度の移動を余儀な
くされた。平成16年定時制の統廃合
に反対する署名活動、平成19年定時
制が置かれていたE館校舎を特別支
援学校にする計画案の勃発、平成22
年看護分校廃止に伴う再引越し作
業等幾多の難題を乗り越えてきた経

同窓会会報紙の 購読申込み受付中

令和3年～7年発行の同窓会会報紙を
ご希望の方は下記へお申込みください。

「ゆうちょ銀行」

◎振替口座番号: 00890・4・87537

◎加入者名: 桑名高校同窓会

◎金額: 2000円(送料・税込)

ホームページでも申込み受付してい
ます。



緯がある。
定時制存続を訴え母校のために役立ちたいという願いは、平成18年12月「劇団すがお」の『灯りは消えず〜定時制高校の青春〜』上演にも結集されていた。60年前に創立した劇団代表の加藤武夫・同窓会副会長は当時を振り返り、「全在校生を含め延べ五百人に観劇して頂いた。その情熱の灯は15年経過した今でも若い世代へバトンタッチされており第70回卒業生の方へと引き継がれると思います。」

来る令和3年3月1日は幾多の困難な環境にもめげず頑張った生徒や4年連続皆勤賞を有言実行した生徒など5名が卒業されます。



百十周年記念講演会

講師 萩原正敏 先生
京都大学大学院医学研究科教授
（1977年桑名高校理数科卒業29回生）
学校主催「桑高創立百十周年記念講演会」として令和2年11月17日（火）に桑名高校体育館での対面及びオンラインによる教室での受講という形で実施しました。

演題は『The Impossible Dream』、副題は「見果てぬ夢を追いかけて〜魔法の弾丸を求める旅〜」でした。

コロナ感染症防止対策として三密にならぬよう体育館での対面と各教室での同時映像を使って全生徒が聴講しました。校長先生に感想をお聞きすると言葉に出来ないほど心揺さぶられるお話とのことでした。

講師を選ばれたきっかけは、情熱大陸に出演しておられたのを、たまたま見て感動し調べたらなんと桑高の出身だったそうです。

応援メッセージ 書道部より

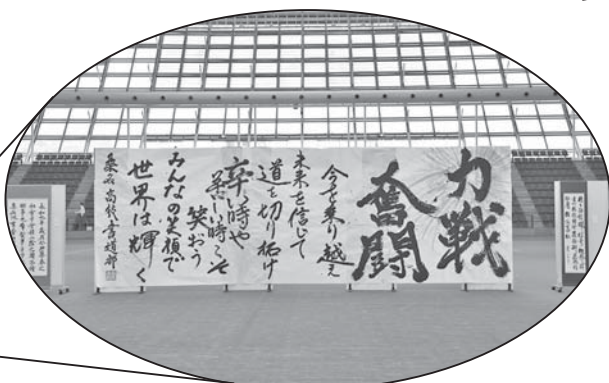
R2 カ戦奮闘
今を乗り越え
未来を信じて
道を切り拓け
辛い時や
苦しい時こそ
笑おう
みんなの笑顔で
世界は輝く

H29 叶夢輝
描いた未来
信じる心を胸に
高い壁飛び越え
共に目指した未来へ

H28 拍手喝彩
宴もたけなわ
誰も彼もが手を叩く
この命を極彩色に染めて
今一瞬を謳歌せよ

H27 龍
幾つもの失敗や
挫折を繰り返し
歩み続けることで
得られた強さが
今自分の中にある

H26 一筆入魂
昨日の自分に悔いはないか
今この瞬間に全力を注ぎ
努力のない栄光などない
己の信ずる道を生きよ



書道部は桑高祭で巨大紙に上記の様な力強いメッセージを書いて校庭に掲示してきました。

一般公開で楽しみにしていたOBも多いと思います。2011年（東日本大震災）の題字は「がんばろう日本」、H28年（五輪開催）は「拍手喝采」。R2年はコロナ禍の困難な環境に負けず「力戦奮闘」して、一生懸命頑張ろうと四日市ドームから声援を送っています。

【関西支部】

校歌と私

支部長

杉本芳昭

(10回生)



桑高同窓会会員の皆様には益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

今春ご卒業の皆さん卒業おめでとうございます。まさにコロナ感染拡大の渦中での卒業、大きな不安があります。力強く第一歩を踏み出して下さい。くれぐれも「三密」を厳守し「うつさない」「うつらない」を合言葉とし、責任ある行動をされます様に。

さて、桑高同窓会関西支部は広報活動の一環として関西大阪三重県人会に、三重県立高校12校と共に協賛校として参画しています。昨年のNHK朝ドラ「エール」の主人公、古関裕而(作曲家)が話題になり、各校の校歌(作曲者)の資料探索をする事になりました。三重県立津高校同窓会大阪支部長の中山正隆氏(弁護士)より、桑高校校歌作曲者は津高と同じ信時潔という事で互いにその関りを調べる事になりました。

現在桑高に於いては毎日13時3分と16時50分の2回校歌は全校に流れ、この2回の校歌のチャイムでお昼休みと校時の終了が告げられます。

す。

(私たち10回生の時は……)

まさに在校生の皆さんは身体の一部となつていますね。それでは桑高校校歌作曲者である信時潔氏との関りを述べたいと思います。

1950年(昭和25年)当時の桑高校長伊達貫一郎(早大卒)が早大恩師である(国文学者)窪田空穂(うつぼ)に作詞を依頼し、信時潔(文化功労者・東京音楽卒)によって作曲されました。校歌作成発表されたのは、1951年(昭和26年)2月8日であった。

窪田空穂・信時潔両氏は大正・昭和時代を代表する作詞家・作曲家であり、2人共日本芸術院会員である。エピソードとして、伊達校長より作曲者の依頼を受けた窪田空穂が「山田さんの曲は歌いにくく、人柄その他から言って、小生は信時さんをお勧めします。」山田さんとは同世代一流の作曲家山田耕筰である。信時潔の名望力量のほどがうかがえます。ちなみに桑高第二応援歌(若人に栄光あれ)は作詞作曲共に米山正夫である。当代一流の窪田空穂・信時潔・米山正夫の3名が、桑高校校歌・応援歌にかかわりがあったのである。

信時潔の生い立ちは1887年(明治20年)大阪北協会の牧師の三男として生まれる。1923年(大正12年)東京音楽学校教授就任、昭和の戦争の時代に第二の国歌と言われた「海ゆかば」の作曲者が信時潔である。幅広い分野での作曲、数千曲、

その中の校歌・社歌を千曲以上作曲した。

三重県立高校では桑名高校・津高校・上野高校・四日市工業高校など身近なところでは多度小学校・朝日小学校、社歌としてNTN株式会社ユーハイム等、神戸在住である私の近隣では兵庫県立神戸高校・長田高校・私立灘高など、それぞれ旧制一中二中の名門校である。校歌作曲者を同じくすることは、非常に親近感がわくものである。信時潔の旨とする「爽快に」「力強く」「心を込めて」この強い気持ちを入魂した校歌は、まさに名門校校歌たる由縁であります。作詞者窪田空穂、作曲者信時潔による校歌を持った私たちは誇りを胸に抱き大切にしたいものです。卒業しますと、校歌との触れ合いは極端に少なくなります。世の中の荒波に身を置いた時に、私たちは校歌によって何回も心を癒され、勇気をもりました。(桑高百周年配布CD)同窓会幹事総会や関西支部総会時に全員で校歌を唱和する時には万感胸に迫るものがあります。

卒業生の皆さんこの3年間、当代一流の作詞家・作曲家の校歌に「はぐくまれ」てきました。この思いを大切にいつまでも校歌を胸に抱き青春の気持ちでもって世の中にトライして下さい。いずれかの日に私たちと一緒に校歌を唱和したいのです。この度の校歌史料探索により、母校桑名高校の当代一流の作詞者・作曲者に多少なりとも触れる事が出来ました。これからは未来社会の担

い手たち、若人が母校校歌を胸に抱き、健やかで、心豊かで、たくましく成長を遂げることを見守る一人でありたいものです。

最後になりましたが、桑名高校同窓会の益々の発展を、そして会員皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

(追記) 資料提供して頂きました畑中祐二先生(しらうお43・49・50号)楽譜を提供頂きました西川典子様のご協力に感謝申し上げます。

【関西支部総会開催案内】

・第11回支部総会を11月頃大阪グランヴィアホテルにて開催予定しております。母校を偲び親睦を深めたいと思います。

事務局一同お待ちしております。

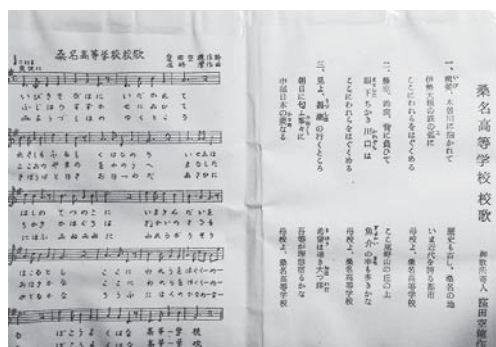
(関西支部連絡先)

杉本芳昭(10回生)

〇九〇—一四八五—八二一一

木村陽一(23回生)

〇九〇—七一一七—八四八二



『東京支部』『同窓会 5G を目指しています！』

支部長 花村 泰 廣（34 回生）



桑名高校同窓会

の皆さまのご健勝
をお喜び申し上げます。
また、卒業

生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

昨年来、世界中が新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄され、現在も警戒が必要な日々が続いています。社会が戸惑う中、とりわけ学生の皆さんも学校生活や日常で多くの制限を受け、本当に大変な一年だったことでしょう。

一日も早い収束を願うばかりです。

東京オリンピック・パラリンピックの延期、非常事態宣言発令と、私たちは様々な「初」を体験しています。

人のいない観光地、閑散とした通勤電車、長年東京で暮らす私たちも経験したことのない光景を見ました。多くの企業ではテレワークの導入が一気に加速し、イベントや会社説明会・採用面接や研修もオンラインで開催され、今も現在進行形で新たな方法や工夫を積み重ねている状況です。社会全体の「働く、あるいは、学ぶ、環境のダイナミックな変

化を感じています。

こうした中、昨年は恒例の「東京同窓会」も思案の末に中止としました。中止のご連絡に、残念な声や温かなメッセージを頂き、大変励まされました。離れている人を想う日々を通じ、新たな同窓会活動のつながり・ひろがりを感じていきたいと思っています。

東京支部では、ウェブサイトやフェイスブックでの受発信を拡充させ、多くの皆さんが集い楽しめる場をつくれなにか考えています。こんな案あんな案も大歓迎です。ぜひお寄せください。

また、東京や関東に進学や就職を予定・希望している皆さん、期待も不安もこれまで以上に大きく振幅しているのではないのでしょうか。その気持ち、本当によく分かります。心配なのは当然です。だからこそ私たちが頼ってください。大学の先輩、職業の先輩、街の先輩、趣味の先輩……。桑高にはたくさん先輩がいて貴方も仲間です。

東京支部では、皆さんを心よりお待ちしております。

《東京支部連絡 mailto》

info@alumni-kuwakotokyo.com

Best Wishes 2021 @our official website. Off we go !

『Open SESAME。』


<https://www.alumni-kuwakotokyo.com/>

桑高 東京



Official Website



facebook

桑高同窓会の活動

【幹事総会】

2020.12.6



会長挨拶



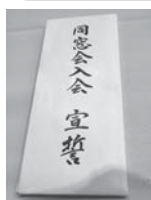
司会進行



NTN シティホール

【同窓会入会式全日制】

2020.2.28



入会宣誓書



伊藤会長挨拶



全日制生徒の皆さん

【同窓会入会式定時制】

2020.2.28



定時制役員より記念品贈呈



定時制生徒の皆さん



伊藤会長挨拶

【全日制卒業式】

2020.3.1



看護科代表に証書授与



普通科・理数科代表



式場 体育館

【専攻科修了式】

2020.3.1



着物姿の修了生



代表に修了証書授与



式場 NTN シティホール

【定時制卒業式】

2020.3.1



卒業生全員で記念写真



卒業生代表答辞



伊藤校長より証書授与

令和 2 年 桑高生の活動

体育祭

2020.9.18



桑高祭 in 四日市ドーム

2020.9.26

3 年生 遠足

2020.10.23



2 年生 修学旅行

2020.10.31~11.1



1 年生 遠足

2020.10.23

衛生看護科戴帽式

2020.11.19



定時制クラスマッチ 2020.7.29

定時制体育祭 2020.9.18

定時制校外学習 2020.10.30

定時制文化祭 2020.11.27



過去 5 年間の大学合格状況（過年度生徒含む）

大学名	入試年度	2016	2017	2018	2019	2020	大学名	入試年度	2016	2017	2018	2019	2020
北海道		2	0	2	1	1	東京都立		2	1	1	1	2
東北		0	2	0	1	0	横浜市立		0	0	1	0	1
筑波		2	2	1	0	0	岐阜薬科		0	1	1	0	0
千葉		0	2	0	1	0	愛知県立		7	3	7	4	4
お茶の水女子		0	1	0	0	0	名古屋市長		5	13	9	7	7
東京		0	0	0	0	0	三重県立看護		3	3	2	3	2
東京外国語		0	0	1	0	0	大阪市立		0	1	1	1	1
東京学芸		1	1	2	2	1	その他公立大		21	19	19	25	18
東京芸術		1	0	0	0	0	公立大合計		38	41	41	41	35
東京工業		0	0	0	1	0	自治医科		0	2	1	1	0
一橋		0	1	1	0	0	青山学院		0	0	4	0	7
横浜国立		0	3	2	0	1	慶應義塾		2	0	3	6	4
富山		5	1	0	7	11	上智		0	2	0	2	0
金沢		6	0	3	7	1	中央		10	11	4	2	4
福井		5	6	1	4	2	東京理科		11	12	13	11	2
山梨		1	0	0	1	1	法政		4	12	3	1	4
信州		2	10	10	0	9	明治		2	11	9	4	4
岐阜		3	7	3	5	1	立教		0	1	2	2	3
静岡		11	7	4	7	5	早稲田		3	1	3	2	4
愛知教育		5	7	5	3	2	愛知		22	46	43	54	84
名古屋		12	15	9	16	9	愛知工業		16	6	21	16	35
名古屋工業		11	3	9	7	3	愛知淑徳		48	40	16	42	56
三重		38	32	48	53	41	金城学院		20	43	20	16	24
滋賀		1	1	1	2	0	相山女学園		30	30	20	11	23
京都		1	1	1	2	0	中京		66	86	58	54	127
大阪		2	1	1	2	2	名城		97	96	116	125	87
神戸		1	2	2	0	3	南山		73	130	56	78	61
奈良女子		0	0	0	3	1	皇学館		11	16	16	16	36
岡山		3	1	0	2	1	同志社		14	22	23	20	17
広島		0	3	2	1	3	立命館		40	43	34	47	46
九州		0	1	0	0	0	関西西		13	5	7	7	15
その他国立大		7	7	10	21	14	関西学院		6	4	7	5	7
国立大合計		120	117	118	144	112	その他私立大		246	264	298	257	386
							私立大合計		901	854	734	777	1036
							三重短		8	6	10	1	0
							国公立短合計		11	7	13	1	0
							私立短合計		8	2	8	1	2
							就職者数（現役のみ）		2	1	1	0	2

令和3年3月卒業生

課 程	学 科	男	女	計（人）
全 日 制	普 通 科	1 3 9	1 3 7	2 7 6
	理 数 科	2 1	1 9	4 0
	衛 生 看 護 科	1	3 9	4 0
	専 攻 科	0	3 7	3 7
定 時 制	普通科（3修制含）	4	1	5
合 計		1 6 5	2 3 3	3 9 8

令和3年3月卒業生の同窓会幹事・恩師の先生

【 全 日 制 】					
学年代表幹事	3 年 3 組	伊藤 凌	註：「代表幹事」は当該卒業生の全体を統括する代表者		
普通科代表幹事	普通科 5 組	南川真由子	理数科代表幹事	理数科 8 組	山崎 陽加
看護科代表幹事	衛生看護科 9 組	五藤 みう	専攻科代表幹事	衛生看護専攻科	山本 彩友
卒業生の恩師	3 学年主任	三谷 直樹	教科 英語	部活動顧問 英語・剣道	

クラス (学科)	ク ラ ス 幹 事		学級担任	教科	部活動顧問
1 組 (普通科)	草薙 璃湖	米倉 杏	辻岡 翼	英語	バスケットボール
2 組 (普通科)	川瀬 風	藤田 亞優	西村 岳士	公民	新聞、ソフトテニス
3 組 (普通科)	伊藤 凌	黒崎 洵輔	大橋 龍一	国語	ボウリング
4 組 (普通科)	伊藤 一志	鈴木 咲映	東原 清	数学	邦楽、山岳
5 組 (普通科)	中津 静か	南川真由子	植田 学	化学	バスケットボール
6 組 (普通科)	加藤ほの夏	川畑 瑳都	牛尾 俊治	物理	女子サッカー、MIRAI 研究所
7 組 (普通科)	大貫 瑛士	生川 響	橋本 陽介	数学	卓球
8 組 (理数科)	奥野 悠梨	山崎 陽加	日沖恵里子	国語	競技かるた
9 組 (衛生看護科)	五藤 みう	伊藤わかな	出岡 真弓	看護	ボウリング
衛生看護専攻科	山本 彩友	吉岡 美緒	島田八千代	看護	書道、バレーボール

【 定 時 制 】					
定時制幹事	○伊藤 壮太	丹羽 麻実	学級担任	山川 達也	(情報)

母 校 の 主 な 活 躍

クラブ・他	大会名	種目	結果	氏名
演劇部	第65回三重県高等学校演劇大会		創作脚本賞	岩本瑞生
剣道部	令和 2 年度三重県高等学校剣道競技一年生大会	女子Ⅱ部	優勝	濱口愛実
書道部	第 47 回三重県高等学校文化連盟書道部門生徒・教員展		特選	成田沙柚奈
水泳部	三重県選手権 三重県高等学校選手権水泳競技大会	200m バタフライ 200m 平泳ぎ 100m 平泳ぎ 200m 自由形 200m バタフライ 400m メドレーリレー	1 位 1 位 1 位 1 位 1 位 1 位	伊藤大斗 世古万琴 谷口 空 須賀浦彩 伊藤大斗 治郎丸遥 須賀浦彩 伊藤大斗 世古万琴 須賀浦彩 世古万琴 小井香乃
		400m フリーリレー	1 位	・世古万琴・小井香乃 ・山本海翔・谷口 空 ・保泉陽太 ・治郎丸遥
		800m フリーリレー	1 位	・世古万琴・小井香乃 ・須賀浦彩 ・治郎丸遥
	令和 2 年度三重県高等学校新人水泳競技大会	女子総合 100 m 平泳ぎ 100 m 自由形・200 m 自由形 200 m フリーリレー	1 位 1 位 1 位 1 位	谷口 空 須賀浦彩 須賀浦彩 鈴木日香理 服部光希 須賀浦彩
	三重県ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	200m 自由形	1 位	・山下千遥・治郎丸遥 ・保泉陽太・谷口 空 ・松田貞瑠
体操部	令和 2 年度三重県高等学校体操競技新人大会	Ⅱ部男子個人総合 鞍馬・平行棒・鉄棒 ゆか・吊り輪・跳馬	優勝 優勝 優勝	中条春斗 内田匠海
美術部	第41回みえ高文祭「ポスター原画コンクール」		最優秀賞 優秀賞	佐野帆南 尾宮桃羽
文芸同好会	高校文芸みえ	小説部門	最優秀賞 入選	小川はるか 水谷 論・野呂浩輝
ボウリング部	三重県高等学校体育大会ボウリング競技	男子団体の部 男子総合の部	1 位 1 位	小林純也・藤田悠次郎 小林純也・藤田悠次郎・木津友吾
	令和 2 年度三重県高等学校体育連盟秋季大会ボウリング競技	男子団体の部 男子総合の部	1 位 1 位	片岡隆之介 木津友吾・小林純也 木津友吾・小林純也・水谷清四郎 加藤敏大・藤田悠次郎
陸上競技部	三重県高等学校陸上競技選手権大会 第35回三重県高等学校駅伝競走大会	1500m 1 区 (6.0km)	優勝 区間 1 位 (区間賞)	森田日世莉 森田日世莉
	三重県産業教育振興会「産業教育に関する作文コンクール」		三重県産業教育振興会会長賞	西谷胡十
	三重県産業教育振興会「産業教育に関する作文コンクール」		三重県産業教育振興会優秀賞	久寶莉子
	税に関する高校生の作文		桑名税務署長賞	杉村木葉実
	専門高校生徒の研究文・作文コンクール		経済同友会賞	西谷胡十

桑名高校同窓会 令和元年度事業及び会計報告

令和元年度 事業報告

(2019年8月1日～2020年7月31日)

2019年8月17日(土)
「文化講演会」講師：千葉一幹様 NTNシティホール

2019年8月24日(土)
2018年度会計監査 朝日鋳工所会議室

2019年8月25日(日)
うどん部屋2019 第2回会議 朝日鋳工所会議室

2019年8月25日(日)
2019年度第1回役員会 朝日鋳工所会議室

2019年9月6～7日(金・土)
桑高祭“うどん部屋”準備・出店 桑名高校

2019年9月29日(日)
2019年度「第1回企画委員会」 桑名高校会議室

2019年11月10日(日)
令和元(2019)年度同窓会幹事総会 桑名シティホテル

2019年12月7日(土)
第3回「同窓会親睦ゴルフコンペ」 スリーレイクスC.C

2019年12月11日(水)
学校・PTAとの意見交換会 桑名高校校長室

2020年1月23～26日(木～日)
桑高合同絵画展 NTNシティホール展示室

2020年2月1日(土)
2019年度第2回役員会 朝日鋳工所会議室

2020年2月25日(火)
会報「桑高同窓会」38号発行

2020年2月28日(金)
令和元年度「同窓会入会式」 桑名高校体育館・他

2020年3月1日(日)
令和元年度卒業式(全日・定時・専攻) 桑名高校体育館・他

2020年3月22日(日)
令和元年度「臨時企画委員会」 NTNシティホール大会議室
(特別委員会) 朝日鋳工所会議室

第1回2019年9月21日(土) 第4回2020年1月18日(土)
第2回2019年11月30日(土) 第5回2020年2月15日(土)
第3回2019年12月21日(土)

(コロナ禍により以下の事業は中止しました)
2020年4月5日第3回役員会は中止
2020年5月24日第2回企画委員会は中止
2020年6月20日親睦ゴルフコンペは中止

令和元年度 会計報告

(2019年8月1日～2020年7月31日)

	科 目	予 算	決 算	増 減
収入の部	入 会 金	1,800,000	1,835,000	35,000
	会 費	1,180,000	706,000	△ 474,000
	事 業 収 入	200,000	199,500	△ 500
	雑 収 入	0	40,580	40,580
	受 取 利 息	1,000	817	△ 183
①	当期収入合計	3,181,000	2,781,897	△ 399,103
支出の部	総 会 費	970,000	767,121	△ 202,879
	会 議 費	380,000	20,875	△ 359,125
	印 刷 費	200,000	146,638	△ 53,362
	通 信 費	300,000	293,743	△ 6,257
	広 報 費	400,000	290,400	△ 109,600
	事 業 費 I	180,000	205,998	25,998
	事 業 費 II	250,000	206,190	△ 43,810
	慶 弔 費	100,000	0	△ 100,000
	支 部 助 成 金	200,000	200,000	0
	入 会 記 念 品	280,000	210,390	△ 69,610
	交 通 費	50,000	30,000	△ 20,000
	名 簿 管 理 費	100,000	55,000	△ 45,000
	雑 費	50,000	41,730	△ 8,270
	110周年準備費	2,000,000	0	△ 2,000,000
	予 備 費	500,000	0	△ 500,000
②	当期支出合計	5,960,000	2,468,085	△ 3,491,915
③	当期収支差異①-②	△ 2,779,000	313,812	3,092,812
④	前期繰越金	14,998,573	14,998,573	0
⑤	次期繰越金③+④	12,219,573	15,312,385	3,092,812

事業費の詳細

	イ ベ ント 名	収 入	支 払 経 費	差引実経費
事業費Ⅰ	うどん部屋	199,500	205,998	△ 6,498
	文化講演会	入場無料	152,606	△ 152,606
事業費Ⅱ	合同絵画展	54,000	105,123	△ 51,123
	親睦ゴルフ大会	28,000	45,561	△ 17,561

財 産 目 録

(2020年7月31日現在)

	科 目	内 訳	金 額
資産の部	現 金		318,970
	定 期 預 金	桑 名 信 用 金 庫	9,030,251
	普 通 預 金	桑 名 信 用 金 庫	2,740,474
		ゆうちょ銀行	3,222,690
	預 貯 金 合 計		14,993,415
	資 産 合 計		15,312,385

令和2年度 桑名高校同窓会役員

会 長 伊藤 隆彦(全11回生)

副 会 長 加藤 武夫(定11回生)

西村 治生(全23回生)

岡野 良子(看7回生)

理 事 上田 広吉(全11回生)

石川 郁子(全15回生)

竹山 延幸(全20回生)

岩谷 幹生(定18回生)

加藤 寛(全22回生)

水谷 栄一(全22回生)

長瀬 浩(全24回生)

後藤 隆彦(全25回生)

水谷 康朗(全30回生)

渡辺 浩子(全31回生)

水貝千寿子(全31回生)

長谷川久美(全32回生)

荒木 佳代(看7回生)

井谷 和恵(看19回生)

石上 秀之(全39回生)

伊藤 剛康(全41回生)

花村 泰廣(全34回生・東京支部長)

杉本 芳昭(全10回生・関西支部長)

伊藤 巧(全24回生)

萱野 治道(全26回生)

小杉 悟(全31回生)

会計監事

桑高のシンボル

渡 辺 尚 登

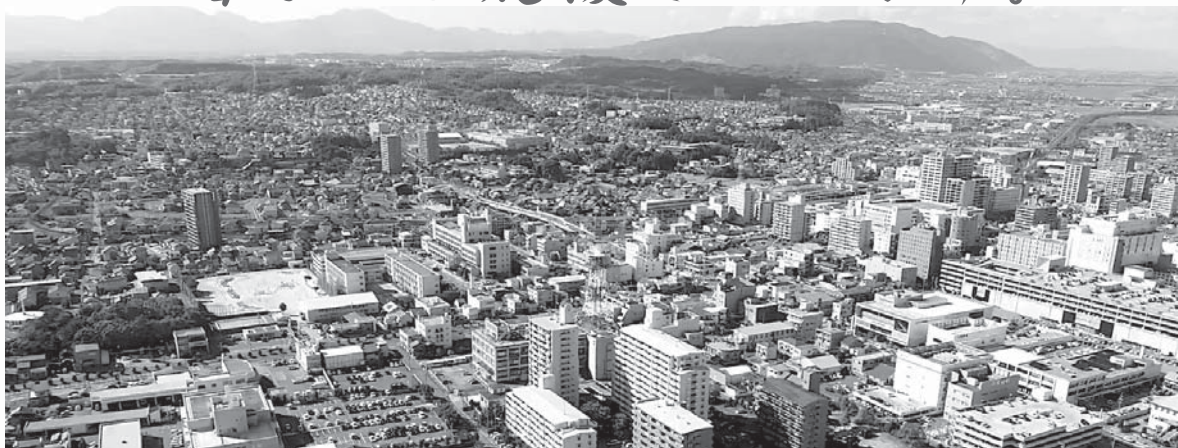
元桑高教員（22 年生）

桑高の創立は、前身校の一つ桑名郡立高等学校（以下県女）が開設された 1910（明治 43）年から数えませんが、現行の桑高創立は 48（昭和 23）年です。戦後の学制改革により、新制高等学校として誕生しましたが、その出発は容易なものではありませんでした。桑高の草創期に制作・制定された「校章」などの背景や意義について述べてみたいと思います。

1948 年 4 月三重県下の旧制中等学校は、そのまま新制高校へ移行する予定でした。ところが前年の 47 年に発足していた新制中学校の校舎が不足しており、義務教育の中学を優先するため新制高校の校舎・敷地を渡す必要が生じたのです。大混乱の中、急遽再配置が実施されました。桑名でも市内にあった三重県立桑名中学校（以下桑中）・県女・桑名市立高等学校（以下市女）の 3 校が一つに統合され、5 月桑中の校舎と敷地に男女共学の桑高が発足しました。3 校から編入して桑高生になったとはいえず、女子生徒の多くには男女共学を好まない風潮があり、女学校に対する愛着が強く残っていました。事実、49・50 年 3 月に桑高卒ではなく、女学校卒を選択した卒業生が多かったのです。このため桑高を一つにするという真の意味での統合が大

きな課題でした。48 年の早い時期に「校章」が制定されました。放射状に配した桑の葉 3 枚は桑中・県女・市女を表したもので、統合を意識したデザインになっています。同年定時制課程が併置され、翌 49 年には普通科のほか商業科・家政科も設置され、総合制高校になりました。多様な課程・学科を統合するという課題がさらに生まれこととなります。50 年 11 月、本金・銀糸の総手製刺繍で施された「校章」を中央に配した「校旗」が制定されました。当日は第 3 回秋季運動会であり全校生徒の前に「校旗」授与式も挙行されています。「桑高新聞」は「式の後校旗を先頭として、グラウンドを一周するや期せずして拍手が沸き起こった」と伝えています。51 年 2 月「校歌」が制定されました。当日「校歌作成発表」が行われています。この時の様子を伝える資料はありませんが、全校生徒による斉唱が行われていれば、その歌声はきっと大きく盛り上がったと想像されます。歌詞の各番の最後の一節「母校よ 桑名高等学校、桑高が「母校」になったのです。明治時代の昔から学校に「校章」「校旗」「校歌」は当たり前のもので、学校のシンボルです。草創期の桑高にとって、これにとどまらず 3 校の統合、2 課程・3 学科統合であり、全校生徒一体化のシンボルという意味がありました。同年、これまで定められていなかった女子制服、現在のセーラー服も決定されました。

桑高同窓会は、
皆さんを応援しています。



桑高同窓会公式ホームページ

<https://kuwakoob.com><https://www.facebook.com/kuwakoob/>